

第7回インフラメンテナンス大賞 特別賞(環境省)受賞

アジア航測株式会社(代表)、理研計器株式会社、トヤマ電話工事株式会社が連携して取り組んできた「立山室堂地区・登山者維持管理における火山ガスシステムの開発」が、317件のインフラメンテナンス大賞応募の中、見事「特別賞(環境省)」を受賞しました。

環境省案件

特別賞

応募部門	ウ. 技術開発部門
案件名	立山室堂地区・登山道維持管理における火山ガス保安システムの開発
代表団体名	アジア航測株式会社
(概要)	立山室堂地区の登山道では平成23年に地獄谷の噴気活動が活発化し、火山ガス(亜硫酸ガス)の影響が及ぶようになった。同登山道においては、風向きや噴気活動の周期等により火山ガスの濃度が人体に危険を及ぼすこともあることから、登山者利用と施設メンテナンスの観点から、火山ガス濃度の観測、注意報・警報の発令、安全利用情報等を発信する火山ガス保安システムをアジア航測(株)等が開発し、立山室堂地区安全対策協議会が運用して登山者及び登山道の維持管理者が活用している。



火山ガス勉強会の開催状況



火山ガス観測施設

インフラメンテナンス大賞とは？

インフラメンテナンス大賞は、日本国内における社会資本のメンテナンス(以下「インフラメンテナンス」という。)に係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

表彰対象企業の主な取り組み概要

◆ アジア航測株式会社

- ・火山ガス保安施設の計画・設計
- ・火山ガス保安施設の定期点検(1週間点検、1カ月点検)
- ・火山ガスの保守運用マニュアルの見直し
- ・毎年の安全対策計画の立案
- ・火山ガス勉強会の企画・運営
- ・火山ガス注意喚起のためのポスター・リーフレットの作成
- ・立山室堂地区安全対策専門委員会の運営

◆ トヤマ電話工事株式会社、理研計器株式会社

- ・火山ガス保安施設の設置・撤去
- ・火山ガス保安施設の初期点検、翌日点検、1カ月点検



火山ガス濃度観測施設

火山ガス濃度を観測するとともにボックスの上のパトランプ・スピーカにより注意報・警報発令情報を発信する。



火山ガス濃度の点検

観測誤差の発生を防止するため、定期的に試験ガスを用いた検査を行い、精度の高い観測を実現している。



火山ガス情報ステーション

歩道の手前に設置され、火山ガスに対する安全利用のための情報を発信している。